

貸 借 対 照 表

2019年 1月31日 現在

セーフティ&セキュリティ 株式会社

(単位：千円未満切り捨て)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	126,544	【流動負債】	15,047
現金及び預金	85,491	買掛金	3,728
売掛金	16,014	未払金	3,508
商品	20,528	未払費用	4,049
貯蔵品	90	未払法人税等	348
立替金	17	未払消費税等	518
前払費用	1,711	前受金	1,886
繰延税金資産	2,400	預り金	1,006
未収入金	435	【固定負債】	79,291
未収法人税等	0	長期借入金	68,176
貸倒引当金	△143	長期未払金	1,115
【固定資産】	21,986	社債	10,000
【有形固定資産】	1,032	負債の部合計	94,338
車両運搬具	955	純 資 産 の 部	
工具器具備品	77	【株主資本】	54,192
【無形固定資産】	4,979	資本金	9,000
のれん	4,338	資本剰余金	1,000
ソフトウェア	641	資本準備金	1,000
【投資その他の資産】	15,973	利益剰余金	44,192
投資有価証券	10,000	利益準備金	940
出資金	20	その他利益剰余金	43,252
敷金	3,167	繰越利益剰余金	43,252
差入保証金	2,222	(うち当期純利益金額)	354
長期前払費用	451	純資産の部合計	54,192
預託金	112	負債及び純資産合計	148,531
資産の部合計	148,531		

注 記 表

セーフティ&セキュリティ 株式会社

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券の評価方法は、次によっております。

①時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

②時価のないもの

移動平均法による原価法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については、最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下に基づいて簿価を切り下げる方法）によっております。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

車両運搬具、工具器具備品については定率法を採用しています。

(2) 無形固定資産

ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

のれん償却については、その投資効果の発現する期間（5年）に基づく定額法によっております。

引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込み額に基づき計上しております。

収益及び費用の計上基準

収益については実現主義により、費用については発生主義により計上しております。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。